



【基本の数字】

設立 **124年の歴史**
1899 2023
1899年12月

24
標榜診療科数

3,350人
教職員数
(2023年4月現在)

医師 ^(※)	1,024人
歯科医師 ^(※)	17人
看護要員	1,221人
薬剤師	104人
その他	984人

(※) 医員含む

1,141床
病床数 (2023年4月現在)

【診療の数字】

2022年度実績

2,580人
1日平均外来患者数

21,190人 **12.3日**
年間新入院患者数 平均在院日数

82.5% 患者紹介率
85.9% 逆紹介率

11,464件 年間手術件数
5,906件 うち日帰り手術件数

【診療の数字】

2022年度実績

6,179台 救急車搬送台数
11,135人 救急患者数

本院の救急車搬送台数は年間6,000台を超えており、国立大学病院としては全国でもトップクラスの診療実績を誇っています。2021年には救急外来エリアの拡張工事が完了し、陰陽圧切替可能な重症処置室を設けて、新型コロナウイルス感染症等の重症感染症にも対応してきました。新型コロナウイルス感染拡大によって救急応需が困難となる状況においても、本院では新型コロナウイルス感染症への対応と通常の救急患者の受入れを両立しています。

5,932人 難治性疾患患者数

2022年度は延べ5,030名の指定難病患者、延べ902名の小児慢性特定疾患患者が本院を受診しました。全身性エリテマトーデス(572名)、パーキンソン病(388名)、潰瘍性大腸炎(314名)など、様々な疾患に対して診療をおこなっています。

2,108件 介護保険意見書提出数

104件 臓器移植件数

本院では肺移植・肝移植とも日本一の実績を有しており、2023年4月末現在、肝移植は2,093例、肺移植も328例を超えています。2022年2月には世界初となるABO血液型不適合条件下での生体肺移植を実施し、また、2022年8月には本邦初となる同一脳死ドナーからの肝小腸同時移植を実施するなど、先進的な取り組みを実施しています。

329件 分娩件数

【研究・治験の数字】

2022年度実績

32件 医師主導治験実施数

手指の末梢神経を損傷した患者さんに対して、バイオ3Dプリンタで作成した三次元神経導管を移植する治験を2020年11月から開始し、経過観察を含めて全て終了しました。治験を実施した3名の患者さん全てにおいて知覚神経の回復を認め、機能的にも良好な回復を認めています。末梢神経損傷に対する新しい治療法として、バイオ3Dプリンタを用いた神経再生技術の開発は世界初となります。

98件 臨床研究数